

第1学年 生活単元学習指導案

1年1組2組3組 計13人(男子10人 女子3人)

指導者 CT 松井 彩歌

ST 原田 舞子,南 拓人,福屋 英子,小川 愛

1 単元名 すきなものをつたえよう～トムとなかよくなるう～

2 単元目標

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">自分や友達の好きな物の名前を知ったり、カードを選択したりすることができる。(国語)友達の存在に気付いたり、友達の好きな物に興味をもったりすることができる。(生活)
思考力,判断力,表現力等	<ul style="list-style-type: none">自分の好きな物を選択したり、指さしや身振り、声、言葉などで表現したりすることができる。(国語)支援を受けながら友達に自分の好きな物を表現することができる。(生活)
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">日本語や英語の音声、友達の発表に興味をもって聞いたり、自分の伝えたいことを自分なりの表現で相手に伝えたりすることができる。(国語)教師や友達とのやり取りを楽しみながら一緒に活動することができる。(生活)

3 単元について

(1) 単元の位置付けとねらい

本グループは、知的障害を有する児童で構成されている。入学して半年が経過し、学級での学習に意欲的に参加できる時間が増えたり、言葉やサインなどでの担任とのやり取りが増えたりしている児童が多い。また、入学当初は学年集団での学習が苦手だった児童も落ち着いて参加したり、教師に注目したりすることができるようになりつつある。特に、映像や具体物に注目したり、クイズに答えたりする活動に興味・関心が高い。また、前単元「えいごであそぼう～どうぶつえんをつくらう～」では英語の歌遊びや音声を聞く活動を行い、響きの面白さや日本語との違いに気付き模倣する児童も増えてきている。一方で友達の発言や発表に対して関心が低い児童や、友達に自分の気持ちを伝えることに苦手意識をもつ児童も多い。これは、友達の話を聞いたり話したりする経験の少なさや、言葉自体への興味・関心の低さなどが原因にあると考える。

そこで、本単元「すきなものをつたえよう～トムとなかよくなるう～」を設定した。本単元では児童が興味・関心をもちやすい好きな物(動物、遊び、果物)を言葉、ジェスチャー、カードなど様々な手段で伝えたり、友達の発表を聞いたりする活動を設定し、多様な表現の方法を身に付けたり、友達と伝え合う楽しさを味わったりすることができるようにしたい。また、前単元から行っている英語の歌遊びや外国の友達「トム」の話す英語に触れる場面を設定し、日本語との違いに気付いたり、言葉への関心を高めたりすることができるようにしたい。

このような学習を通して、児童は友達のことを知ったり、色々な手段でコミュニケーションを図ろうとしたりすることができるようになると思う。また、言葉を聞くこと、話すことへの興味・関心が高まり、外国語活動の素地を養うことができると考える。

(2) 単元で働かせる「見方・考え方」

- 友達の発表やパペットの話す英語を注意深く聞こうとする。
- 友達の好きな物を自分なりに理解しようとする。
- 自分なりの方法で他者に好きな物を伝えようとする。

4 指導計画

※ 単元・題材シートの「指導計画」を参照してください。

単元シート (1年・生活単元学習)

単元名	すきなものをつたえよう ～トムとなかよくなるう～	児童数	職員数	期間	10・11月(5)時間
		13人	5人		
実態における 単元設定	クイズに答えたり、映像や音声を見聞きしたりする学習に興味・関心が高い。小集団で意見交換をしたり、好きな物を伝え合ったりする活動を通し、言語への興味・関心や友達への意識を高め、表現の幅を拡大することができるよう本単元を設定した。				
目標	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 自分や友達の好きな物の名前を知ったり、カードを選択したりすることができる。(国語) 友達の存在に気付いたり、友達の好きな物に興味をもったりすることができる。(生活) 			
	思考力,判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 自分の好きな物を選択したり、指差しや身振り、声、言葉などで表現したりすることができる。(国語) 支援を受けながら友達に自分の好きな物を表現することができる。(生活) 			
	主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 日本語や英語の音声、友達の発表に興味をもって聞いたり、自分の伝えたいことを自分なりの表現で相手に伝えたりすることができる。(国語) 教師や友達とのやり取りを楽しみながら一緒に活動することができる。(生活) 			
	主な内容		よかった点・改善点		
指導 内容	<ul style="list-style-type: none"> トムの好きな物を聞く。 自分の好きな物を考える。 好きな物を発表したり、友達の好きな物を知ったりする。 歌遊びやゲームを行う。 英語の音声を聞く。 				
指導 計画	一 次	<ul style="list-style-type: none"> 単元全体の学習内容を見通す。 トムや教師の手本を見る。 			
	二 次	<ul style="list-style-type: none"> 好きな動物を考え、伝え合う。 好きな遊びを考え、伝え合う。 好きな果物を考え、伝え合う。 			
	三 次	<ul style="list-style-type: none"> 友達と一緒に遊ぶ。 			
手 立 て ・ 支 援	<ul style="list-style-type: none"> 学習への見通しがもてるよう、学習計画表を用いたり、毎時間の授業の流れを定型化したりする。 パペット、動画、歌遊び等を取り入れ、学習への意欲を高める。 指さし、身振り、声、言語(日本語・英語)など様々な表現ができるようモデルを示したり、カード準備したりする。 本時の学習を楽しく振り返ることができるよう、シールや映像を示したり、歌で振り返ったりする。 				
〈改善策等から教育課程へ〉					

第2学年 生活単元学習指導案

2年1組2組3組 計16人(男子10人 女子6人)

指導者 CT 出水澤 優

ST 川添 美千代, 久保田 朝香, 新戸 香織,
石澤 友里愛, 川崎 雅史

1 単元名 えいごであそぼう

2 単元目標

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none">・ 体に関する英単語を聞いて意味を理解することができる。(国語)・ 体に関する部位を理解することができる。(自立活動)
思考力, 判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none">・ 単語を聞き分けて,正しい体のパーツを選ぶことができる。(国語)・ チャンツをしたり,英単語を聞いたりして体に関する部位を触ったりジェスチャーで伝えたりすることができる。(自立活動)
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none">・ 話し手に注目するなど見聞きする姿勢を整え,活動に参加することができる。(国語)・ ヒントや教師の支援を受けて,外国語を聞こうとする態度を養うことができる。(自立活動)

3 単元について

(1) 単元の位置付けとねらい

本グループの児童は,知的障害児16人で構成されている。言葉で流暢に話す児童がいれば,発語がない児童もいるなど実態差が大きく,興味関心のせまさや注意力の弱さから,離席をしたり手遊びをしたりするなど,相手の話を集中して聞くことに課題が見られる。これまでの外国語活動では,目や耳など顔に関する英単語をチャンツや顔パーツゲームを通じて聞く楽しさを味わっていて,今後も英語を聞く態度を養っていくことが必要である。

本単元「えいごであそぼう」では,これまでの学習と同じ流れにすることで見通しをもって活動で参加できるようにし,扱う英単語を「顔」から「体」に変更して聞く態度をより養うことをねらいとする。体パーツゲームは,「Hand」などの英単語を聞いて正しいパーツを選んで貼り,体を完成させる活動である。扱う英単語は身近な体の部位で分かりやすいので興味をもちやすく,「体を完成させたい。」という思いから主体的に話し手に注目したり,静かに座ったりして外国語を聞こうとすることが期待できる。また,グループで取り組むことで,児童同士で話し合う場面を設定することができ,友達の話の聞いたり,自分の思いを伝えたりすることができるようにしたい。

本単元を通して,外国語に親しみながら「相手の話を聞こう。」「相手に伝えたい。」などのコミュニケーションに必要な態度を養うことができると考える。これらの態度をより高めることで他の学習や生活場面でも生かしていくことが期待できる。

(2) 単元で働かせる見方・考え方

- ・ チャンツや体パーツゲームで体に関する外国語を聞こうとする。
- ・ 体に関する外国語を聞いて,言葉やジェスチャー,カードなどで表現しようとする。

4 指導計画 ※ 単元・題材シートの「指導計画」を参照してください。

5 本時 (5 / 5)

単元名	えいごであそぼう		時数	5 / 5	チーフ	出水澤	期日	令和2年11月9日(5)校時	場所	音楽室																		
目標	<p>【1段階】C, D, L, O児</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師のやりとりを通して、体に関する英単語を聞くことができる。(自活) 教師と一緒に体の名称の英単語を聞き、パーツを選ぶことができる。(国語) 		<p>【2段階】B, E, I, L, P児</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師とのやりとりを通して、体の名称の英単語を聞き、イラストやジェスチャーで伝えることができる。(自活) 教師の言葉掛けやイラストの手助けで体の名称の英単語を聞き、パーツを選ぶことができる。(国語) 		<p>【3段階】A, F, G, K, M, N児</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師とのやりとりを通して、言葉で体の名称を言葉で伝えることができる。(自活) 外国語を聞いて、聞いた英単語と同じの名称のパーツを選ぶことができる。(国語) 																							
時間	主な学習内容		考える場面をつくるための教師の発問と意図等		指導上の留意点																							
5分	1 始めの挨拶をする。 始めの歌を歌う。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 5 「何の言葉が聞こえたかな？」 「どのイラストと同じかな？」 </div> <div style="text-align: center;">↓</div>		<ul style="list-style-type: none"> 始まりの歌でなじみのある曲を使うことで、楽しく活動が始められるようにする。 視覚的に分かりやすいように、イラストやジェスチャーを使うようにする。 パーツゲームでは、児童同士で教え合うことができるようにグループ編成をする。 児童の興味のあるキャラクターなども取り入れることで、学習に意欲的に参加できるようにする。 既習学習で扱った色をチーム分けに取り入れることで興味をもてるようにする。 体を動かすことで楽しんで外国語に親しめるようにする。 「good」「good job」「Excellent」などジェスチャーを交えながら子どもの活動を称賛することで自信をもって学習に取り組めることができるようにする。 																							
5分	2 ウォーミングアップ 体に関する英単語を振り返る。																											
5分	3 顔の名称チャンツをする。																											
5分	4 本時の内容を確認する。 「からだをかんせいさせよう。」																											
10分	5 顔のパーツゲーム <ul style="list-style-type: none"> 赤・青・黄の3チームに分かれる。 音声を聞いたりイラストを見たりして体のパーツを選び貼り付ける。 		<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> パーツを選ぶために集中して聞いたり、イラストを見て同じものを選んだりしてゲームを楽しみながら顔を完成できるようにしたい。 </div>																									
10分	6 ダンスタイム 「パプリカ」																											
5分	7 振り返りをする。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【場の設定】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="3">その他の活動</td> <td colspan="3">パーツゲーム</td> </tr> <tr> <td colspan="3">テレビ</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>1組</td> <td>2組</td> <td>3組</td> <td>赤</td> <td>青</td> <td>黄</td> </tr> </table> </div>								その他の活動			パーツゲーム			テレビ						1組	2組	3組	赤	青	黄
その他の活動											パーツゲーム																	
テレビ																												
1組	2組	3組	赤	青	黄																							
	8 終わりの歌を歌う。 終わりの挨拶をする。																											

単元シート (2年・生活単元学習)

単元名	えいごであそぼう	児童数	職員数	期 間	10・11月(5)時間
		16	6		
実態における 単元設定	これまでの外国語活動では、チャンツや顔パーツゲームの活動を行い、外国語に楽しく慣れ親しみながら、外国語を聞くときは静かにするなど話を聞くことへの意識が高まりつつある。本単元でも、外国語を通じて聞く態度を養うことができるようにチャンツや体パーツゲームなどの活動を設定した。				
	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 体に関する英単語を聞いて意味を理解することができる。(国語) 体に関する部位を理解することができる。(自立活動) 			
	思考力,判断力, 表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 単語を聞き分けて,正しい顔のパーツを選ぶことができる。(国語) チャンツをしたり,英単語を聞いたりして体に関する部位を触ったりジェスチャーで伝えたりすることができる。(自立活動) 			
	主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 話し手に注目するなど見聞きする姿勢を整え,活動に参加することができる。(国語) ヒントや教師の支援を受けて,外国語を聞こうとする態度を養うことができる。(自立活動) 			
	主な内容			よかった点・改善点	
指導 内容	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶 (Hello, Good-bye) ルーレット (Start, Stop) 数字 (one~five) チャンツ (Hand, Foot, Face.....) 顔パーツゲーム (Hand, Foot, Face.....) ダンス (♪パプリカ 英語バージョン) 				
指導 計画	一 次	チャンツで体を使って表現したり,絵カードを見たりして体に関する英単語に慣れ親しむ。			
	二 次	体パーツゲームの活動を通して英単語を聞き分け,体を完成させる。			
手 立 て ・ 支 援	<ul style="list-style-type: none"> スイッチ教材を利用することで,児童が主体的に「start」「stop」と言うことができるようにする。 チャンツを通して体に関する英単語と部位を関連付けて理解することができるようにする。 グループに分けて活動することにより友達と協力して取り組むことができるようにする。 体パーツゲームを通して,外国語を意識して聞く態度を養うことができるようにする。 				
〈改善策等から教育課程へ〉					

重複障害学級 生活単元学習指導案

1～6年重複障害学級2・3課程児童 計13人(男子7人 女子6人)

指導者 CT 山本里枝

ST 玉島朋子 宮内美沙希 大久保裕子

小出水葵 田畑恒平 角亜希子

1 単元名 Let's enjoy!

2 単元目標

知識及び技能	・ 英語の音楽や教師の言葉掛けに気付き、聞くことができる。(音楽)
思考力, 判断力, 表現力等	・ 教師や友達と楽しく遊ぶことができる。(生活)
主体的に学習に 取り組む態度	・ 教師や友達と一緒に体を動かしたり, 声を出したりすることができる。(自活)

3 単元について

(1) 単元の位置付けとねらい

本グループは、重複障害学級の児童で構成されており、異学年の集団であるが、日常生活の中で、教師と一緒にお互いの教室を行き来して遊んだり、学習したりする中で顔を合わせると笑顔になったり、手と手を合わせて挨拶をしたりする等お互いに親しみを感じている。昨年度から始めた「C棟チャレンジタイム」では、外国語での活動を取り入れ、同じ歌遊びを日本語バージョンと英語バージョンの両方で行ったり、簡単な英語を取り入れながら玉入れやダンス等、体を動かしたりする活動に対して笑顔で声を出したり、体を動かしたりする姿が見られるようになってきている。また、1学期に行った玉入れでは、応援するという活動を通して友達や教師といった他者を意識することができるようになりつつある。

以上のことから、本単元「Let's enjoy!」を設定した。英語の歌遊びでは、体を動かしながら、日本語とは異なる英語の響きを楽しめるようにする。簡単な英語を取り入れたゲーム的な要素のある活動では、集団活動を経験する中で、友達を応援したり、喜び合ったりすることができるようにしたい。

このような学習を通して、英語の音楽や言葉掛けを聞いて慣れ親しむことができるようになると思われる。また、チームでの活動を通して、友達や教師を意識し、体の動きや表情、発声などで関わりを楽しむことができるようになると思われる。


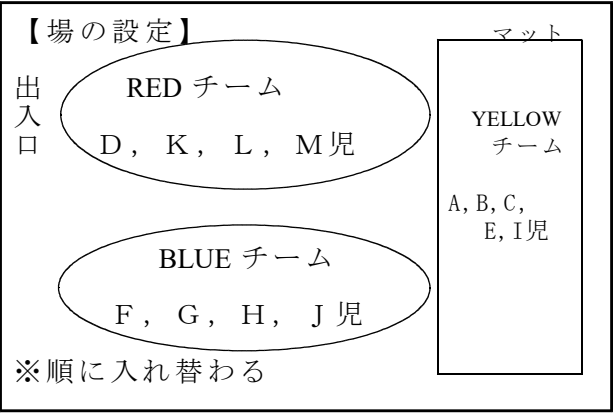
(2) 単元で働かせる「見方・考え方」

- ・ 友達や教師の発する英語の音楽や言葉掛けに気付き、聞こうとする。
- ・ ゲーム的な要素のある活動では、友達や教師と一緒に応援したり、喜び合ったりしようとする。
- ・ 体を動かしたり、声や表情に出したりして自分の思いを伝えようとする。

4 指導計画

※ 単元シートの「指導計画」を参照してください。

5 本時 (4 / 4)

単元名	Let's enjoy !	時数	4 / 4	チーフ	山本	期日	令和 2 年 11 月 9 日 (月) 3 校時	場所	日生棟
目標	A, D, H, I, K, L 児 ・自分から進んで教師や友達に働き掛け, 気持ちを表現したり, 関わりを楽しんだりすることができる。【自立活動, 生活】(主)			B, C, E, F, G, J, M 児 ・教師や友達の言葉掛けや音楽を聞いて, 身体を動かしたり, 表情や発声で気持ちを伝えたりすることができる。【自立活動, 生活】(主)					
時間	主な学習内容		考える場面をつくるための教師の働き掛けと意図等			指導上の留意点			
2 分	1 始めの歌を歌う。 ♪「Hello Song」		5 順番が回ってきたら児童に 2 つのボールを提示しながら「Big ?」「Small ?」と問い掛ける。 			<ul style="list-style-type: none"> ・始められる状態か確認してから始めの歌を歌うようにする。(体調, 姿勢などの確認) ・教師が元気に楽しく歌うことで, 学習が楽しく始められるようにする。 ・児童の様子を見ながら, 視線の向いていない児童に関わり, やり取りに意識が向くようにする。 			
3 分	2 英語のやり取りをする。 「How are you?」								
8 分	3 歌遊びをする。 ♪「Big and Small」		自分で使ってみたいボールを選ぶことで, よりやる気をもって楽しくゲームをしてほしい。			<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習の写真を提示することにより, 活動内容を思い出し, 本時の学習への意欲が高まるようにする。 ・ボールを選ぶ場面では, じっくりと待つようにし, 児童が考える時間を十分に取るようにする。 ・ピンを倒したら, 同じチームの友達の方を見てポーズをとり, みんなで喜び合うような場面を設定する。 ・待っている児童は, 教師と一緒に友達を応援するように促し, 楽しく待てるようにする。 ・数名の教師はバルーンの下に児童と横になり, けがのないように注意する。 ・楽しかったことや自分ができたことをそれぞれ担任と確認し, 数名が発表できるようにする。 ・全員の学習の様子を称賛し, 楽しく終わるようにする。 			
20 分	4 本時の学習内容を知る。 ぼうりんぐたいかいをしよう！								
6 分	<ul style="list-style-type: none"> ・ Big ボールか Small ボールを選ぶ。 ・待つ間は, 友達の応援をする。 		【場の設定】 出入口  ※順に入れ替わる						
5 分	5 バルーンをする。 ♪「パプリカ」英語バージョン								
1 分	6 振り返りをする。								
	7 終わりの歌を歌う。 ♪「Say good-bye」								

単元シート (重複障害学級・生活単元学習)

単元	Let's enjoy!		児童数	職員数	期間	9～11月(4)時間
			13人	7人		
実態における 単元設定	<p>昨年度から始めた「C棟チャレンジタイム」では、英語の歌遊びを行ったり、チャンツに合わせて体を動かしたりすることで、笑顔を見せたり、声を出したりして、楽しさを味わう姿が見られるようになってきている。そこで、簡単な英語を取り入れたゲーム的な要素のある活動を通してさらに友達を意識したり、関わりを楽しんだりできるように本単元を設定した。</p>					
目標	知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音楽や言葉掛けに気付き、聞くことができる。(音楽) 				
	思考力,判断力,表現力等	<ul style="list-style-type: none"> 教師や友達と楽しく遊ぶことができる。(生活) 				
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 教師や友達と一緒に、体を動かしたり、声を出したりすることができる。 				
	主な内容			よかった点・改善点		
指導内容	<p>挨拶 (Hello song, How are you?) 歌遊び, 制作活動, ボウリング, バルーン 振り返り 挨拶 (Say good-bye)</p>					
指導計画	一次	<ul style="list-style-type: none"> みんなで作ろう 歌遊び/制作活動, ボウリング 				
	二次	<ul style="list-style-type: none"> みんなで遊ぼう 歌遊び/ボウリング, バルーン 				
	三次	<ul style="list-style-type: none"> ボウリング大会をしよう 歌遊び/ボウリング, バルーン 				
手立て支援	<ul style="list-style-type: none"> 音楽や言葉掛けなどを工夫し、楽しい雰囲気での活動を進められるようにする。 児童の気持ちや感じていることを教師が言語でフィードバックし、共感できるようにする。 友達や教師の存在に気付き、集団での活動を意識できるような言葉掛けをする。 児童の実態に応じて、活動しやすい姿勢をとることができるように配慮する。 					
<p>〈改善策等から教育課程へ〉</p>						